

さつま町内の20区公民館が取り組んで特色ある活動、イベントなどを紹介しています。



館長 邦永英人さん

船木区は、国道267号と328号が通過し、市街地への玄関口となっています。公民館は4つの公民会から構成され、各公民会を五反田川が流れ、茶と畜産を中心に水稻をあわせもつ農業主体の地域です。

区では、学校五日制の対応として、子どもと高齢者が一緒になって盆釜たきやしめなわ、餅つきなどを行う世代間の交流や毎月一回の清掃作業などの環境美化運動に努め「活力ある船木の創造」を地区民一体となって推進し、美しいふるさとづくりに取り組んでいます。



◆人口 1,212人

◆世帯数 522世帯

◆公民会数 4公民会

地域活動



船木区は、市街地への玄関口でもあり、「花いっぱい運動」と「環境美化運動」を展開しながら、地域のイメージアップに努めています。そのひとつとして、国道沿いのフラワーポットの設置や五反田川の清掃作業を毎月第1日曜日にウォーキングを兼ねて空き缶やチリ拾いなどを全戸で実施しています。

農産加工センター



加工センターを中心に生活改善を進めるべく、昭和63年に建設され、現在、味噌、めんつゆ、焼き肉のたれなどの製造を行っています。味噌については、大好評で、地区内はもとより、町内外をはじめ、県外からも注文がきています。また、平成14年度から始めた豆腐製造は地区民に好評であり、月数回製造しています。

農業振興



銘茶「みやかおり」の産地として茶業の取り組みが盛んな地域です。茶園面積約40haを11戸の茶工場が中心となり、地域にある茶コントロールセンターを生産加工の拠点として取り組まれています。

伝統的行事



3年に1回、豊年踊りを開催しています。今年は、船木東の一本矢旗、西の髷踊り(バラ踊り)、下の三本矢旗、旭の棒踊りがそれぞれの保存会により10月に披露されます。